

あんげろす

「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

ヨハネによる福音書 8・12

地球環境破壊、科学(軍事)技術の無気味な独走、競争と効率優先主義に基づく人間選別と切り捨て、情報化社会の中の人間関係の希薄化、老後の不安。何やら今私たちは、不安と不確かさのうちに生きている。

私たちの不安は子どもたちの不安でもある。自分の存在感の不確かさが集団によるいじめに結びついているのかも知れない。いじめられる側の孤立感と絶望感が彼の不安な生を断ち切らせるとすれば、何とも悲しい光景である。

死者が復活し、闇を歩く者が光の子となり、不安と絶望にある者が希望と確かさのうちに生きることができるのは、キリスト者にとって神への信仰と、神の慈しみゆえである。

教育に携わる私たちが、学生に希望と信頼を抱かせ、社会や隣人に喜んで奉仕する精神を涵養することがどのようにできるか、もっと真剣に考えてよい。

辻 泰一郎

第10号

1995. 5

